古石ひでさと5期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石 後援会だより

URL：http://古石.com/

第３１１２号
発行日　令和２年４月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

コロナ治療にアビガン錠効果が　４月２０日

コロナ治療「アビガン」に注目

白木公康名誉教授ら開発　ウイルス増殖抑制に期待

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を発令した7日、安倍晋三首相は治療候補薬として、インフルエンザ治療薬「アビガン」を増産する方針を表明した。開発に携わった富山大名誉教授の白木公康さん(67)は「命を救う薬として貢献できればうれしい」と語る。

「すでに120例を超える投与が行われ、症状改善につながったという報告も受けている」。首相は会見でアビガンへの期待を前面に押し出し、開発企業と協力して臨床研究を進めることを表明。世界30カ国から提供の申し入れがあり、政府は無償供与も始める。

アビガンはインフルエンザ治療薬として白木さんと富山化学工業（現富士フイルム富山化学）が開発。2014年に治療薬として承認され、現在は政府が新型インフルエンザ対策として200万人分を備蓄する。

岐阜市出身の白木さんは1991年に富山大のウイルス学研究室教授に就任。当初は帯状疱疹などを起こすヘルペスウイルスの治療薬を研究したが、既存の薬より効くものはできなかった。

遺伝子での再出発を目指していた98年、富山化学の研究者が、同社が持つ3万個の化合物の中から試験管での実験でインフルエンザに効きそうな結果が出た物質として、アビガンを持ってきた。

エボラ死亡率低下

動物実験を始めると、マウスでもインフルエンザに効くことを示せた。しかし、富山化学の経営状況が悪化したことや、既にインフルエンザ治療薬があったことなどから治験は停滞。それでも、既存の薬が効かない新型インフルエンザが出現した場合の切り札として14年に承認された。

アビガンはRNAのコピーという、ウイルス増殖の基本的な仕組みを妨げるため、白木さんは「インフルエンザ以外のRNAウイルス全般に効く」とみていた。実際、14年からアフリカで猛威を振るったエボラ出血熱にも使用されたが、インフル治療薬として妊婦への使用を禁忌とされなかったが、ギニアでは死亡率を低下させたとの研究成果もある。

コロナウイルスでも同様の効果を期待して、藤田医科大（愛知県豊明市）が3月に臨床研究を開始。首相はこうした研究成果を念頭に「効果が出ている」と発言したとみられる。富士フイルム富山化学も今月3日にアビガンの治験を始め、6月末までに結果をまとめる。既に増産にも乗り出した。

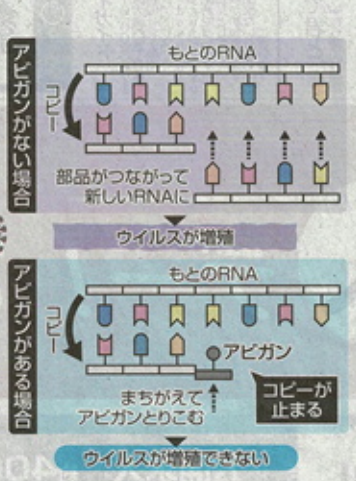
妊婦への使用禁止

ただ、アビガンは動物の試験で、胎児に奇形を生じる催奇形性が確認された。人での保障はない。

チームは、ウイルスをさまざまな物の表面に付着させた。感染力があるとみられるウイルスが検出された最長時間はプラスチック72時間、ステンレス48時間、銅4時間、段ボール24時間だった。

ウイルスに汚染された物に触れた手で目、鼻、口を触ると、粘膜を通じて感染する可能性がある。それを防ぐには、顔を触る前には必ずせっけんで手を洗うこと、家庭や職場などで複数の人が触るドアノブやテーブルなどは消毒剤でこまめに拭き掃除をすることが大切だ。

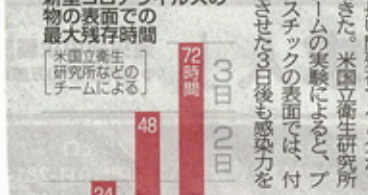
白木公康さん



新型コロナ　ミニ知識

プラスチック上3日後も感染力

新型コロナウイルスは細胞の中で増殖するため、感染者のせきなどのしぶきに混じって体の外に出ると、環境中でさらに増えるということはない。しかし何かの表面に付着すると、かなり長い間残存すると分かってきた。米国立衛生研究所チームの実験によると、プラスチックの表面では、付着させた3日後も感染力を保っていた。



ニセコのキセキ　第2部「NISEKO」を生む力　考察編・ヒントを探る

①なぜ「独り勝ち」？

開発余地、発信力に差

国際リゾートに成長したニセコ地域。今も外国資本進出の勢いを映す＝2020年2月1日、本社ヘリから、中川写真撮影

七光星に輝きを　第1部 北海道勢

「対象明確に」

札沼線に惜別の一枚

「汽憶」連載のアマ写真家・番匠さん

最終日の朝、駅巡り撮影

「さようなら札沼線　85年間ありがとう」というメッセージが掲げられた、JR石狩金沢駅近くの民家横を走る列車＝17日午前7時5分、番匠克久さん撮影

緊急事態の週末

人出減少に地域差

ドコモ全国調査

札幌駅55％減

道内建設業　賃上げ相次ぐ

コロナ禍　人手不足なお

2020年（令和2年）4月21日（火曜日）